

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-5  
環境保全の推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

廃棄物対策課長 伊藤 耕

電話番号

0852-22-6173

事務事業の名称	浄化槽適正管理指導啓発等事業	
目的	(1) 対象	浄化槽を使用する住民（浄化槽管理者）
	(2) 意図	適正な浄化槽の維持管理を実施してもらう
事業概要	各保健所にて未管理及び修繕が必要な不適正浄化槽の指導を行うとともに、適正な維持管理を管理者に根付かせるよう取り組む。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等			年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	浄化槽法第11条検査等の不適正改善率	目標値		80.0	80.0	80.0	80.0	%
	式・定義	不適正改善件数/不適正指導立入検査数	取組目標値						
			実績値	82.1					
			達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	862	407
うち一般財源 (千円)	862	407

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない。
---------------------	--------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成23年度から平成27年度の5カ年の改善平均率は63.8%であったが、平成27年度のみ目標値の80%を達成している

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

浄化槽の不適正管理の改善が進んだ。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

単独処理浄化槽については、漏水事案が多い

### ②困っている状況が発生している「原因」

浄化槽管理者の適正な管理に関する理解度が不十分

### ③原因を解消するための「課題」

浄化槽の適正な管理について、浄化槽管理者への啓発及び指導を継続的に実施

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

浄化槽の不適正管理者に対しては継続的な指導を実施

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）